

体験を学びの糧にして

各学科の夏季研修・実習報告

郷土文芸文学散歩

国文学科



藤太物語絵巻に魅入る学生たち

さる9月22日に、民俗文芸講読（郷土文芸）の文学散歩が行われた。今年度は、受講生が50名に達したもので、前期（9月）・後期（2月）の二班に分かれて実施することになった。今回（前期）の参加者は学生が32名、引率教員が3名の計35名

で、貸し切りバス一台を利用して、栃木市近辺の文学由来の場所を見学した。この文学散歩にあたって、昨年までの文学散歩を実施して下さった細矢藤策先生にも特別にご参加頂いた。先生は各見学地で、猛暑の中汗だくになりながらもわれわれに懇切丁寧に説明を下された。見学地としては、室の八島・下野国府跡・三轟山の万葉歌碑・浅沼八幡宮のおしどり塚・佐野駅のおしどり像・秋山川の万葉歌碑、そして藤原秀郷を祀る唐沢山神社で昼食をとり、そこで江戸時代に作られた貴重な俵藤太物語絵巻を展覧させて頂いた。そのあと、小野小町のお墓・村檜神社・円仁ゆかりの大慈寺を見学し、栃木駅で解散となった。最後に細矢先生は、参加した学生の見学場所での態度が大変よかったと、お褒めのことばを述べられた。今回も先生のご尽力により成功裏に終えられた。深謝申し上げます。

臨床検査

8月10日、家政学科一年生養護教諭課程履修者28名を対象に、臨床検査の講義と実習が行われた。

学校では、児童・生徒や教職員を対象とした健康診断の項目として尿や心電図等の検査が実施されている。健康診断に携わる養護教諭にとって、臨床検査の知識は、不可欠である。講師は下都賀総合病院臨床

検査課の田中正二氏・小杉朱美氏を招いて行われた。『臨床検査とはどのような検査か』、『検査では何が分かるのか』、『採尿方法や採尿時間による尿の種類』等の基礎講義があり、その後自分の尿を検査する実習が行われた。心電図検査も二人がペアになって機器を操作してお互いの心電図検査を行った。実習後の学生の感想として「自分の尿を自分で検査する実体験をして、尿は今まで汚いものと思っていたが、体の

家政学科

赤十字救急法 基礎講習会

さる9月16日、家政学科一年生養護教諭課程履修者31名を対象に、3人の指導員による赤十字救急法・基礎講習会が行われた。赤十字救急法とは、日常生活の事故や災害にあった人、急病になった人に対して、医師や救急隊員に引き継ぐまでの知識や技術を学ぶことで



救急法実践の様子

ある。今回は、昨年に引き続き2年間を通したスキルアップを考慮した1年次の講習会である。



尿検査法と判定法の説明を受ける学生たち

中の様々な情報を運んでくれる貴重なものとして、再認識した」とあり、臨床検査についての知識が深まったようだった。

講習開始10分前に出席確認と併せ、服装等の点検が行われた。10時からは赤十字救急法についての講義があり、その後2人ペアになり、一体の人形で一次救急法（気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ・AEDを用いた除細動の実技）が行われた。15時からの実技・筆記試験の結果、全員に認定証が交付された。今回の基礎講習認定証を得たことにより、更に二年次の救急員養成講習会受講資格を取得することができた。

初等教育学科

表現活動交流会

9月24日、岩舟町立小野寺南小学校において「表現活動交流会」が行われ、初等教育学科一・二年生有志51名が参加した。この交流会は、平成18年度から年2回実施しており、今年で9回目である。毎回学生がリーダー役となり、全校児童と音楽を中心とした活動を行ってきた。今回の活動は、特に日本の音楽に焦点をあてた活動を取り入れ、前半は児童による合唱・合奏、そして学生によるお囃子や箏の演奏を互いに鑑賞しあい、その



子どもたちと一緒にわらべうたを

後、全校児童と一緒に「なべなべそこぬけ」などのわらべうたで楽しく活動した。後半は学年別に分かれて、箏や和太鼓などの和楽器の演奏体験や音楽づくりなどの活動を行った。

教育現場での児童とのふれあいは、教員をめざす学生にとって実践力を高めるうえで非常に貴重な場となっている。長年にわたりご協力いただいている小野寺南小学校の先生方と児童の皆さんに深く感謝を申し上げます。

考古学フィールドワーク



炎天下での圓通寺古墳発掘調査

日本史学科

今年度の考古学フィールドワークは、栃木市圓通寺境内の圓通寺古墳（前方後円墳）において8月10日から17日まで第七次調査を実施した。調査参加者は、教職員5名、本学学生28名、國學院大學学生・立正大学大学院生など15名の総勢48名。今年の調査地点は、くびれ部付近に設定し、古墳のまわりをめぐる周濠の確認を行った。発掘の結果、周濠は予想以上に墳丘の外側に広がる事が判明し、埴輪や鉄鏃が多量に出

博物館実習

今年度は、9月22日に二年生27名による実習を佐野市郷土博物館、栗田美術館、葛生化石館において実施し、25日に一年生36名による実習を、栃木県立博物館において実施した。

二年生の実習は、各博物館の常設展示見学のほか、特に佐野市郷土博物館で学芸員による博物館概説の後、収蔵庫やトラックヤードなどを順に見学することができた。

史跡調査

一年生の実習では、学芸員による博物館での作業に関する詳しい解説の後、収蔵庫などを順に見学することができると有益な実習であった。



史跡樺崎寺（樺崎八幡宮）での記念撮影

今年度の一年生の史跡調査は、9月24日に足利市の鏝名寺、足利学校、足利公園古墳、史跡樺崎寺（樺崎八幡宮）、史跡唐沢山城において実施した。

古文書実習

日本史コースは8月5〜7日にかけて古文書実習を行った。延べ参加者47名。今回は太平山神社文書の整理と読解を中心に作業を進めた。実習参加者は真剣に読解に取り組み、日ごろの学習成果を発揮した。太平山神社文書はここ数年整理を重ねており、その成果は学園創立50周年・日本史学科開設25周年記念特別展「太平山の歴史と文化―栃木の良さ再発見―」にも活かされている。

山種美術館見学

文化・美術史コースでは、7月11日に、東京広尾にある山種美術館で開催されていた「広重東海道五十三次」を、美術史演習Ⅰの受講生ら7人と共に見学をした。ちょうど東海道五十三次の模写をしていた時なので、大いに参考になった。